

宿泊約款

令和5年8月5日

(適用範囲)

第1条 当施設が宿泊客との間で締結する宿泊契約及びこれに関連する契約は、この約款の定めるところによるものとし、この約款に定めのない事項については、法令又は一般に確立された慣習によるものとします。

2. 当施設が、法令及び慣習に反しない範囲で特約に応じたときは、前項の規定にかかわらず、その特約が優先するものとします。

(宿泊契約の申込み)

第2条 当施設に宿泊契約の申込みをしようとする者は、次の事項を当施設に申し出ていただきます。

(1) 宿泊者の氏名、年齢、性別及びご職業

(2) 宿泊日及び到着予定時刻

(3) その他当施設が必要と認める事項

2. 宿泊客が、宿泊中に前項第2号の宿泊日を超えて宿泊の継続を申し入れた場合、当施設は、その申し出がなされた時点で新たな宿泊契約の申し込みがあったものとして処理します。

(宿泊契約の成立等)

第3条 宿泊契約は、当施設が前条の申し込みを承諾したときに成立するものとします。ただし、当施設が承諾をしなかったことを証明したときは、この限りではありません。

2. 前項の規定により宿泊契約が成立したときは、宿泊期間（3日を超えるときは3日間）の基本宿泊料を限度として当施設が定める申込金を、当施設が指定する日までに、お支払いいただきます。

3. 申込金は、まず、宿泊客が最終的に支払うべき宿泊料金に充当し、第6条及び第18条の規定を適用する事態が生じたときは、違約金に次いで賠償金の順序で充当し、残額があれば、第12条の規定による料金の支払いの際に返還します。

4. 第2項の申込金を同項の規定により当施設が指定した日までにお支払いいただけない場合は、宿泊契約はその効力を失うものとします。ただし、申込金の支払期日を指定するに当たり、当施設がその旨を宿泊客に告知した場合に限ります。

(宿泊契約締結の拒否)

第4条 当施設は、次に掲げる場合において、宿泊契約の締結に応じないことがあります。

(1) 宿泊の申し込みが、この約款によらないとき。

(2) 満室（員）により客室の余裕がないとき。

(3) 宿泊しようとする者が、宿泊に関し、法令の規定、公の秩序若しくは善良の風俗に反する行為をするおそれがあると認められるとき。

(4) 宿泊しようとする者が、次のイからハに該当すると認められるとき。

イ 暴力団員による不当な行為の防止等に関する法律（平成3年法律第77号）第2条第2号に規定する暴力団（以下「暴力団」という。）、同条第2条第6号に規定する暴力団員（以下「暴力団員」という。）、暴力団準構成員又は暴力団関係者その他の反社会的勢力

ロ 暴力団又は暴力団員が事業活動を支配する法人その他の団体であるとき

ハ 法人でその役員のうちに暴力団員に該当する者があるもの

(5) 宿泊しようとする者が、他の宿泊客に著しい迷惑を及ぼす言動をしたとき。

(6) 宿泊しようとする者が、伝染病者であると明らかに認められるとき。

(7) 宿泊に関し暴力的要求行為が行われ、又は合理的な範囲を超える負担を求められたとき。

(8) 天災、施設の故障、その他やむを得ない事由により宿泊させることができないとき。

(9) 都道府県条例に特に規定される場合に該当するとき。

(宿泊客の契約解除権)

第5条 宿泊客は、当施設に申し出て、宿泊契約を解除することができます。

2. 当施設は、宿泊客がその責めに帰すべき事由により宿泊契約の全部又は一部を解除した場合（第3条第2項の規定により当施設が申込金の支払期日を指定してその支払いを求めた場合であつて、その支払いより前に宿泊客が宿泊契約を解除したときを除きます。）は、別表第2に掲げるところにより、違約金を申し受けます。

3. 当施設は、宿泊客が連絡をしないで宿泊日当日の午後9時（あらかじめ到着予定時刻が明示されている場合は、その時刻を2時間経過した時刻）になっても到着しないときは、その宿泊契約は宿泊客により解除されたものとみなし処理することがあります。

(当施設の契約解除権)

第6条 当施設は、次に掲げる場合においては、宿泊契約を解除することがあります。

(1) 宿泊客が宿泊に関し、法令の規定、公の秩序若しくは善良の風俗に反する行為をするおそれがあると認められるとき、又は同行為をしたと認められるとき。

(2) 宿泊客が次のイからハに該当すると認められるとき。

イ 暴力団、暴力団員、暴力団準構成員又は暴力団関係者その他の反社会的勢力

ロ 暴力団又は暴力団員が事業活動を支配する法人その他の団体であるとき

ハ 法人でその役員のうちに暴力団員に該当する者があるもの

(3) 宿泊客が他の宿泊客に著しい迷惑を及ぼす言動をしたとき。

(4) 宿泊客が伝染病者であると明らかに認められるとき。

(5) 宿泊に関し暴力的要求行為が行われ、又は合理的な範囲を超える負担を求められたとき。

(6) 天災等不可抗力に起因する事由により宿泊させることができないとき。

(7) 都道府県条例に特に規定される場合に該当するとき。

(8) 寝室での寝たばこ、消防用設備等に対するいたずら、その他当施設が定める利用規則の禁止事項（火災予防上必要なものに限る。）に従わないとき。

2. 当施設が前項の規定に基づいて宿泊契約を解除したときは、宿泊客がいまだ提供を受けていない宿泊サービス等の料金はいただきません。

(宿泊の登録)

第7条 宿泊客は、宿泊日当日、当ホテル（館）のフロントにおいて、次の事項を登録していただきます。

(1) 宿泊客の氏名、年令、性別、住所及び職業

(2) 外国人にあつては、国籍、旅券番号、入国地及び入国年月日

(3) 出発日及び出発予定時刻

(4) その他当施設が必要と認める事項

2. 宿泊客が第 11 条の料金の支払いを、クレジットカード等通貨に代わり得る方法により行おうとするときは、あらかじめ、前項の登録時にそれらを呈示していただきます。

(客室の使用時間)

第 8 条 宿泊客が当施設の客室を使用できる時間は、午後 4 時から翌朝午前 11 時までとします。ただし、連続して宿泊する場合においては、到着日及び出発日を除き、終日使用することができます。

2. 当施設は、前項の規定にかかわらず、同項に定める時間外の客室の便用に応じることがあります。この場合には所定の追加料金を申し受けます。

(利用規則の遵守)

第 9 条 宿泊客は、当施設内においては、当施設が定めて施設内に掲示した利用規則に従っていただきます。(営業時間)

第 10 条 当施設の主な施設等の営業時間は室内のご案内等でご案内します。

(料金の支払い)

第 11 条 宿泊客が支払うべき宿泊料金等の内訳は、別表第 1 に掲げるところによります。

2. 前項の宿泊料金等の支払いは、通貨又は当施設が認めた旅行小切手、宿泊券、クレジットカード等これに代わり得る方法により、宿泊客の出発の際又は当施設が請求した時、フロントにおいて行っていただきます。

3. 当施設が宿泊客に客室を提供し、使用が可能になったのち、宿泊客が任意に宿泊しなかった場合においても、宿泊料金は申し受けます。

(当施設の責任)

第 12 条 当施設は、宿泊契約及びこれに関連する契約の履行に当たり、又はそれらの不履行により宿泊客に損害を与えたときは、その損害を賠償します。ただし、それが当施設の責めに帰すべき事由によるものでないときは、この限りではありません。

(契約した客室の提供ができないときの取扱い)

第 13 条 当施設は、宿泊客に契約した客室を提供できないときは、宿泊客の了解を得て、できる限り同一の条件による他の宿泊施設をあっ旋するものとします。

2. 当施設は、前項の規定にかかわらず他の宿泊施設のあっ旋ができないときは、違約金相当額の補償料を宿泊客に支払い、その補償料は損害賠償額に充当します。ただし、客室が提供できないことについて、当施設の責めに帰すべき事由がないときは、補償料を支払いません。

(宿泊客の手荷物又は携帯品の保管)

第 14 条 宿泊客がチェックアウトしたのち、宿泊客の手荷物又は携帯品が当施設に置き忘れられていた場合において、その所有者が判明したときは、当施設は、当該所有者に連絡をするとともにその指示を求めるものとします。

ただし、所有者の指示がない場合又は所有者が判明しないときは、発見日を含め 7 日間保管し、その後廃棄を致します。尚、食品類に関しては、ただちに廃棄をするものとします。

(宿泊客の責任)

第 15 条 宿泊客の故意又は過失により当施設が損害を被ったときは、当該宿泊客は当施設に対し、その損害を賠償していただきます。

第 16 条 宿泊客の故意又は過失により当施設が損害を被ったときは、当該宿泊客は当施設に対し、その損害を賠償していただきます。

別表第 1 宿泊料金等の内訳 (第 2 条第 1 項及び第 12 条第 1 項関係)

		内 訳
宿泊客が支払うべき総額	宿泊料金	基本宿泊料
	追加料金	
	税金	消費税（宿泊料金に込み）

備考1 基本宿泊料はウェブサイト等に掲示する料金表によります。

別表第2 違約金（第5条第2項関係）

契約申込人数 契約解除の通知を受けた日		不泊	チェックイン後	当日～5日前
一般	1名様～14名様	100%	キャンセルから24時間分100%以降の未宿泊分50%	最初の1泊分100% 残りの泊数分50%

（注）

1. %は、基本宿泊料・追加人数料金に対する違約金の比率です。
2. 5日前の午後3時以降のキャンセルについては宿泊料金・追加人数料金の返金はありません。
3. 複数泊の場合で、5日前の午後3時以降のキャンセルについては、最初1泊分は返金不可ですが、残りの泊数分は50%が返金されます。到着後に出発を早める場合は、キャンセル後24時間以降の滞在していない宿泊分については50%が返金されます。
4. 各宿泊サイトより宿泊予約をされた場合のキャンセルチャージについては個別のサイトで決められたキャンセル規定に準ずる。

Accommodation terms and conditions

August 5, 2023

(Scope of Application)

Article 1. Accommodation contracts concluded between this facility and guests, and related contracts, shall be governed by these terms and conditions. Matters not stipulated in these terms and conditions shall be governed by laws and regulations or generally established customs.

2. Notwithstanding the provisions of the preceding paragraph, if this facility agrees to special provisions within the scope that does not violate laws and regulations and customs, those special provisions shall take precedence.

(Application for Accommodation Contract)

Article 2. Anyone wishing to apply for an accommodation contract with this facility must provide the following information to the facility:

- (1) The guest's name, age, gender, and occupation
- (2) The date of stay and the estimated time of arrival
- (3) Any other information deemed necessary by the facility

2. If a guest requests to extend their stay beyond the date specified in item (2) of the preceding paragraph, the facility will treat this request as a new application for an accommodation contract at the time the request is made.

(Formation of Accommodation Contract, etc.)

Article 3. An accommodation contract shall be formed when the facility accepts the application in the preceding article. However, this shall not apply if the facility proves that it did not accept the application.

2. When an accommodation contract is formed pursuant to the provisions of the preceding paragraph, the guest shall pay a deposit determined by the facility, up to the amount of the basic accommodation fee for the accommodation period (or 3 days if the period exceeds 3 days), by the date specified by the facility.

3. The deposit shall first be applied to the accommodation fee that the guest is ultimately required to pay. If circumstances arise that require the application of Articles 6 and 18, the deposit shall be applied to the penalty fee, followed by compensation, and any remaining balance shall be refunded when the payment of fees is made pursuant to Article 12.

4. If the deposit in paragraph 2 is not paid by the date specified by the facility pursuant to the provisions of that paragraph, the accommodation contract shall become invalid. However, this applies only if the facility has notified the guest of the deposit payment deadline.

(Refusal to Conclude Accommodation Contract)

Article 4. This facility may refuse to conclude an accommodation contract in the following cases:

- (1) When the accommodation application does not conform to these terms and conditions.
- (2) When there are no rooms available due to full occupancy.
- (3) When it is deemed that the person intending to stay may engage in acts that violate laws and regulations, public order, or good morals in relation to their stay.
- (4) When it is deemed that the person intending to stay falls under any of the following categories:
 - a. A gang as defined in Article 2, Item 2 of the Act on Prevention of Unjust Acts by Gang Members (Act No. 77 of 1991) (hereinafter referred to as "gang"), a gang member as defined in Article 2, Item 6 of the same Act (hereinafter referred to as "gang member"), a quasi-gang member, or a person related to a gang or other anti-social force.
 - b. When the corporation or other organization is controlled by a gang or gang member.
 - c. A corporation whose officers include any member of an organized crime group.
- (5) When a person seeking accommodation engages in conduct that causes significant disturbance to other guests.
- (6) When a person seeking accommodation is clearly found to have a contagious disease.
- (7) When violent demands are made regarding accommodation, or when an unreasonable burden is requested.
- (8) When accommodation cannot be provided due to natural disasters, facility malfunctions, or other unavoidable circumstances.
- (9) When the case falls under a specific provision in the prefectural ordinance.

(Guest's Right to Cancel the Contract)

Article 5. Guests may cancel the accommodation contract by notifying the facility.

2. If a guest cancels all or part of the accommodation contract due to reasons attributable to the guest (excluding cases where the facility has specified a payment deadline for the deposit and requested payment in accordance with Article 3, Paragraph 2, and the guest cancels the accommodation contract before that payment), the facility will charge a cancellation fee as specified in Appendix 2.

3. If a guest does not arrive by 9:00 PM on the day of arrival (or two hours after the specified arrival time if an arrival time has been specified in advance) without contacting the facility, the facility may consider the accommodation contract to have been canceled by the guest.

(Right of this facility to terminate the contract)

Article 6 This facility may terminate the accommodation contract in the following cases:

(1) When it is deemed that a guest may engage in or has engaged in conduct that violates laws and regulations, public order, or good morals in relation to their stay.

(2) When it is deemed that a guest falls under any of the following (a) to (c):

(a) A yakuza, a member of a yakuza, a quasi-member of a yakuza, or a person related to a yakuza or other anti-social force

(b) A corporation or other organization whose business activities are controlled by a yakuza or a member of a yakuza

(c) A corporation whose officers include a person who is a member of a yakuza

(3) When a guest engages in conduct that causes significant disturbance to other guests.

(4) When it is clearly determined that the guest has a contagious disease.

(5) When violent demands are made regarding accommodation, or when unreasonable burdens are requested.

(6) When accommodation cannot be provided due to force majeure such as natural disasters.

(7) When the case falls under a specific provision of prefectural ordinances.

(8) When smoking in bed in the bedroom, tampering fire safety equipment, or otherwise failing to comply with the prohibited items in the facility's rules of use (limited to those necessary for fire prevention).

2. If the facility cancels the accommodation contract based on the provisions of the preceding paragraph, the facility will not charge for accommodation services that the guest has not yet received.

(Registration of Accommodation)

Article 7. Guests shall register the following information at the front desk of this hotel on the day of their stay:

(1) Guest's name, age, gender, address, and occupation

(2) For foreign nationals, nationality, passport number, place of entry, and date of entry

(3) Departure date and estimated departure time

(4) Other information deemed necessary by the facility

2. If a guest intends to pay the charges under Article 11 by means other than currency, such as a credit card, they shall present these at the time of registration as described in the preceding paragraph.

(Guest Room Usage Time)

Article 8. Guests may use the guest rooms of this facility from 4:00 p.m. until 11:00 a.m. the following morning. However, in the case of consecutive stays, guests may use the rooms all day, excluding the arrival and departure days.

2. Notwithstanding the provisions of the preceding paragraph, this facility may accommodate requests for guest room use outside the hours specified in that paragraph. In this case, a prescribed additional charge will be applied.

(Compliance with Rules of Use)

Article 9 Guests must abide by the rules of use established and posted within the facility. (Operating Hours)

Article 10 Operating hours for the main facilities of this facility will be provided in the room information, etc.

(Payment of Charges)

Article 11 The breakdown of accommodation charges and other fees payable by guests shall be as set forth in Appendix 1.

2. Payment of the accommodation charges and other fees mentioned in the preceding paragraph shall be made at the front desk upon the guest's departure or when requested by the facility, using currency or other methods acceptable to the facility, such as traveler's checks, accommodation vouchers, or credit cards.

3. Even if a guest chooses not to stay after the facility has provided a room and made it available for use, the accommodation charges will still be collected.

(Responsibility of the Facility)

Article 12 The facility shall compensate guests for any damages incurred in the performance of the accommodation contract and related contracts, or due to non-performance thereof. However, this shall not apply if the damage is not attributable to the facility.

(Handling of Cases Where the Contracted Room Cannot Be Provided)

Article 13. If the facility is unable to provide the contracted room to the guest, it will, with the guest's consent, arrange for alternative accommodation under the same conditions as far as possible.

2. Notwithstanding the provisions of the preceding paragraph, if the facility is unable to arrange alternative accommodation, it will pay the guest compensation equivalent to the cancellation fee, and this compensation will be applied to the amount of damages. However, if the inability to provide the room is not attributable to the facility, no compensation will be paid.

(Storage of Guests' Luggage or Personal Belongings)

Article 14. If a guest leaves their luggage or personal belongings behind at the facility after checking out, and the owner is identified, the facility will contact the owner and request instructions. However, if the owner does not provide instructions or the owner cannot be identified, the items will be stored for 7 days, including the day of discovery, and then disposed of. Food items will be disposed of immediately.

(Guest Responsibilities)

Article 15: If the facility suffers damage due to the intentional act or negligence of a guest, the guest shall compensate the facility for such damage.
Article 16: If the facility suffers damage due to the intentional act or negligence of a guest, the guest shall compensate the facility for such damage.

Appendix 1: Breakdown of Accommodation Charges, etc. (Related to Article 2, Paragraph 1 and Article 12, Paragraph 1)

		breakdown
Total amount payable by the guest	Accommodation fee	Basic accommodation fee
	Additional charges	
	Tax	Consumption tax (included in the accommodation price)

Note 1: Basic accommodation fees are based on the price list posted on the website, etc.

Appendix 2: Penalties for breach of contract (related to Article 5, Paragraph 2)

Contract applications Number of people		The day I received the notice of contract termination	Not staying overnight	After check-in	Same day to 5 days prior
general	1 to 14 people		100%	Cancellation fee: 100% for the first 24 hours 50% for any remaining unused time after the cancellation	100% for the first night 50% for the remaining nights

(Note)

1. The percentage represents the ratio of the cancellation fee to the basic accommodation fee and additional person fee.
2. For cancellations made after 3 PM five days prior to arrival, accommodation fees and additional person fees are non-refundable.
3. For multi-night stays, if you cancel after 3 PM five days prior to arrival, the first night is non-refundable, but 50% of the remaining nights will be refunded. If you change your departure date after arrival, 50% of the unused nights will be refunded for stays from 24 hours after cancellation.
4. For cancellations made through individual accommodation websites, the cancellation policy set by each website will apply.